

令和元年11月18日

府中警察署交通課

交通事故発生状況

1 交通事故発生状況（過去5年間）

		26年	27年	28年	29年	30年	5年平均
府中署	発生件数	638	492	409	416	388	468.6
	(指数)	(100)	(77)	(64)	(65)	(61)	
	死者数	0	1	3	4	3	2.2
	負傷者数	746	591	484	470	443	546.8
	(指数)	(100)	(79)	(65)	(63)	(59)	
	重傷者	5	4	3	5	10	5.4
	軽傷者	741	587	481	465	433	541.4
都内	発生件数	37,184	34,274	32,412	32,763	32,592	33,845.0
	(指数)	(100)	(92)	(87)	(88)	(88)	
	死者数	172	161	159	164	143	159.8
	(指数)	(100)	(94)	(92)	(95)	(83)	

2 令和元年中（平成31年1月～令和元年10月末）

	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和元年	268	0	12	286
平成30年	342	2	7	385
前年比	-74	-2	5	-99
増減率	-21.6%	-100.0%	71.4%	-25.7%

3 当事者の関与率（1月～10月）

	高齢者		二輪車		自転車		貨物車	
	件数	関与率	件数	関与率	件数	関与率	件数	関与率
令和元年	94	35.1	55	20.5	122	45.5	73	27.2
平成30年	109	31.9	61	17.8	139	40.6	95	27.8
前年比	-15	3.2	-6	2.7	-17	4.9	-22	-0.6
増減率	-13.8%	10.0%	-9.8%	15.2%	-12.2%	12.1%	-23.2%	-2.2%

交通安全情報

令和元年10月
警視庁交通部

トワイライト・オン運動 推進中

前照灯点灯推奨時間

11月 16:00

12月 16:00

1月 16:00



※トワイライト・オン運動とは車両の前照灯を日没よりも早めに点灯し、夕暮れ時間帯の交通事故防止を図ろうとする運動です。

薄暮時間帯(日没前後1時間)は、例年、交通死亡事故が多く発生しています。周囲の視界が徐々に悪くなり、お互いに発見が遅れたり、距離や速度がわかりにくくなるためです。

早めに前照灯を点灯することで、**自分の車の存在を周囲に知らせるとともに、速度を落として、慎重な運転を心掛けましょう。**

+ 夜間には、ハイビームの上手な活用を!!



警察庁の調査分析では、自動車対歩行者による死亡事故のうち、**ハイビームを活用していれば、衝突回避できた可能性の高い事故がある**ことが判明しています。

ロービームは40m先、ハイビームは**100m先**までを照らします。

(道路運送車両の保安基準)

ハイビームにすることで、歩行者や自転車の存在、または道路上の不測の事態を遠くから発見することができ、事故を回避することにつながります。

💡 暗い道で対向車や先行車がない場合は、ハイビームを活用

💡 交通量の多い市街地などや対向車・先行車がいる場合は、ロービーム



TOKYO
ルール

ヘッドライトは早めにON!

TOKYO
SAFETY
ACTION



交通安全情報

令和元年11月
府中警察署

運転中のながらスマホは危険です！

こんな運転していませんか？



携帯電話等のながら運転の

令和元年12月1日から

罰則が厳罰化されます

3月以下の懲役または
5万円以下の罰金

携帯電話使用等 (保持)	1点
携帯電話使用等 (交通の危険)	2点
大型車	7,000円
普通車	6,000円
二輪車	6,000円
原付車	5,000円

改正後は

1年以下の懲役または

30万円以下の罰金

携帯電話使用等 (保持)	3点
携帯電話使用等 (交通の危険)	6点
大型車	2万5,000円
普通車	1万8,000円
二輪車	1万5,000円
原付車	1万2,000円

約3倍!!

「一瞬の気の緩みが、一生の後悔」ながら運転はやめましょう